

「三井物産の森」における生物多様性保護林

活動場所

三井物産(株)社有林「三井物産の森」



活動目的

高品質の森林管理とサービスを提供しつつ、生物多様性保全・水源涵養・温暖化防止といった森林が有する公益的価値の向上に努める。

活動内容

全国74か所、約44,000ヘクタールに広がる「三井物産の森」を所有する当社は、森林認証基準に基づいた管理計画を策定、実行し、持続可能な森林経営を行っています（森林管理業務は三井物産フォレストに委託）。

当社が実践している特徴的な管理方法は、山林の地形や樹種など様々な特徴を捉えて管理方法を分ける「ゾーニング」です。「ゾーニング」には「人工林」、「天然生林」、「生物多様性保護林」などがあり、それぞれの管理方針に基づき適切な森林管理を行っています。

特に「三井物産の森」の約10%にあたる「生物多様性保護林」では、保護価値の高い森林を選定し、「特別保護林」、「水土保護林」、「環境的保護林」、「文化的保護林」の4種類に分類し、生物多様性に配慮した管理、施業を行っています。また、「生物多様性保護林」以外についても、施業前の保護が必要な場所の特定、希少種の生息状況についてのモニタリング等を行っています。



特別保護林
(福島県田代山林)
生物多様性の価値が非常に高い林地です。



水土保護林
(新潟県南葉山林)
山地崩壊防止等の機能を提供し、水土を保護し生態系を保全する林地です。

PRしたいポイント

- ◎全国74か所、約44,000ヘクタールに広がる「三井物産の森」の森林経営
- ◎山林の地形や樹種など様々な特徴を捉えて管理方法を分ける「ゾーニング」
- ◎管理区域の約10%を「生物多様性保護林」に選定し、生物多様性に配慮した管理、施業を実施

活動効果、今後の展開 等

- 森林認証の維持
- 「三井物産の森」における生物多様性保全への取組みの深化
- 社内外への取組発信

三井物産株式会社

<https://www.mitsui.com/jp/ja/>